

評価会議（令和元年度中間）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目			A委員	B委員	C委員
企画提案 (事業計画) 内容および事業の実施状況	協議会の取組 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等 (配点5点)	4	4	4
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等 (配点5点)	4	3	5
		(3)「組織運営」にかかる支援の提案内容等 (配点5点)	4	4	4
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の提案内容等 (配点5点)	4	4	5
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等 (配点5点)	4	4	5
		(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等 (配点5点)	3	3	4
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等 (配点5点)	4	4	4
	策(取組) 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)にかかる提案内容等 (配点5点)	4	4	4

主な意見等

- ・「まちカフェ」「つながリスト」いずれも有効と思う
- ・活動も多彩で目のつけどころが良い。ただ、地域の抱える危機（災害、犯罪）から組織のあり方や日常活動を考えることも大事ではないかと思う。
- ・企業との連携もとりあげて欲しい。
- ・カルテ（虎の巻）会議を小さな単位で仕掛けていく取組はとても良いと思う。すでにワークショップを開いた地域の住民が、他地域のファシリテーターを務めるなど、担い手育成や学びあいの仕掛けも検討していただきたい。
- ・サラダボウルプロジェクトの継続発展を期待する。
- ・区とまちセンの役割分担がはっきりしているのはよい(ただし、それが住民にも理解できていれば)。

- ・長期的な目標設定や連続ワークショップなど、ユニークな事業を考えておられるようなので、年度末の報告に期待したい。会場に来られない人にも情報が伝わるよう工夫されたい。
- ・地域差がでるのは仕方の無いことだが、区として最低限のコミュニティ機能や支援のシビルミニマムについて、どのように考えておられるのか？ 委託事業者は「良い事例」を作るのに長けているが、水平展開する力量は弱いと思うので、区との役割分担について共通理解にしていきたい。
- ・地域カルテによる課題の可視化はとても重要。カルテを読み解き、ビジョンや対策を話し合う住民会議が（地活協役員だけでなく幅広い参加のもとで）開催できないだろうか。
- ・様々な地域テーマの話し合いについて、今まで地域活動に参加してこなかった方が参加することによって、自然に担い手等になることを期待したい。
- ・「つながり」の具体化を意識した取組を引継ぎ実施していただきたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。